

血液 II

【Hematology and Oncology II】

担当責任者 診療教授（血液内科） 塚田 順一

ねらい

血液病の発症病態を理解し、正しい診断を下す知識を習得する。
臨床症候から、正しい鑑別診断を行うことを目標とする。
疾患活動性やリスク評価に基づき、治療を選択する能力を習得する。
症例に基づいた診断・治療方法を習得する。
モデル・コア・カリキュラムガイドラインや医師国家資格出題基準に従った、教育を実施する。

学修目標

1. 貧血、リンパ節腫大、出血・血栓の臨床所見より鑑別診断を列挙できる。
2. 白血球増加・減少、貧血・多血、M蛋白血症などの検査所見より鑑別診断を列挙できる。
3. 白血球・赤血球・血小板などの血球や凝固因子の質的・量的異常より鑑別診断を列挙できる。
4. 血算、血液像、細胞生化学、細胞抗原、染色体・遺伝子異常などによる診断方法を説明できる。
5. 抗腫瘍薬、造血薬、サイトカイン、免疫抑制薬、輸血を用いた血液病の治療を説明できる。
6. 骨髄・臍帯血・末梢血幹細胞移植の原理・適応や方法を説明できる。

事前事後学習の方法

事前は教科書を通読し、事後は講義プリントで復習する。

成績評価方法・基準

本試験を成績評価とし、60点以上を合格とする。

○教科書

内科学 第11版 矢崎義雄総編集 2017年 朝倉書店
ハリソン内科学 第5版 福井次矢・黒川清監修 2017年 メディカル・サイエンス・インターナショナル
ワシントンマニュアル 第13版 高久史麿・和田攻監訳 2015年 メディカル・サイエンス・インターナショナル

○参考書

Wintrobe's Clinical Hematology 14th edition, 2018, Lippincott Williams & Wilkins
Williams Hematology, 9th edition, 2015, McGraw Hill
WHO Classification Tumors of Haematopoietic and Lymphoid Tissues, revised 4th edition, 2017, IARC Press

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
			白血球系疾患・骨髄性疾患 I (急性白血病等: VII-2-A~E)	D	1	(1)~(4)	塚田 順一
			赤血球系疾患 I (鉄欠乏性貧血など: 国試基準 VII-1-A~H)	〃	〃	〃	山崎 嘉宏(学外)
			〃 II (自己免疫性溶血性貧血など: VII-1-I~T)	〃	〃	〃	〃
			白血球系疾患・骨髄性疾患 II (CML等: VII-2-F~N)	〃	〃	〃	塚田 順一
			悪性リンパ腫と類縁疾患 I (Hodgkin病など: VII-3-A~C)	〃	〃	〃	森本 浩章
			〃 II (多発性骨髄腫など: VII-3-D~I)	〃	〃	〃	〃
			出血性素因と血栓傾向 I (ITPなど、VII-4-A,B,E,F)	〃	〃	〃	塚田 順一
			〃 II (TTPなど、VII-4-C,D,G~R)	〃	〃	〃	〃
			末梢血幹細胞移植・骨髄・臍帯血移植の総論と各論	〃	〃	〃	東 丈裕
			悪性腫瘍に対する化学療法的作用と有害事象	〃	〃	〃	塚田 順一